

平成 25 年 9 月 5 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 小野 暁史

課長補佐 吉川 英樹

死亡・死産担当係 : 年報第一係 (内線 7490)

出生・婚姻・離婚担当係 : 年報第二係 (内線 7491)

(電話) 03-5253-1111 (代表)

03-3595-2812 (ダイヤル)

平成 24 年 (2012) 人口動態統計 (確定数) の概況

目 次

調査の概要	1
結果の概要	3
(統計表)		
第1表	人口動態総覧	4
第2表-1	人口動態総覧の年次推移	5
第2表-2	人口動態総覧(率)の年次推移	7
第3表-1	人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別	9
第3表-2	人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別	11
第4表	母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数	13
第5表	年齢(5歳階級)・出生順位別にみた合計特殊出生率(内訳)	14
第6表	性別にみた死因順位(第10位まで)別 死亡数・死亡率(人口10万対)・構成割合	15
第7表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率(人口10万対)	16
(別表)	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	19
付表	諸率の算出に用いた人口	20
参考	合計特殊出生率について	21

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所: 「統計情報・白書」→「各種統計調査」→「最近公表の統計資料」
→「平成 24 年人口動態統計(確定数)の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei12/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成24年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成24年1月1日～平成24年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省
└── 保健所を・特別区
 設置する市 ───┘
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報
数値：調査票を作成した数
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む
公表：毎月 (調査月の約2か月後)

人口動態統計月報
数値：概数
集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)
公表：毎月 (調査月の約5か月後) ：毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)

人口動態統計年報
数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)
集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)
公表：毎年(調査年の翌年9月)

※本概況は太枠の部分である。

報告書(刊行は平成26年2～3月ころ)

- 上巻(人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻(出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻(死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

4 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{自然増減数 (出生数-死亡数)}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数 (妊娠満12週以後の死児の出産) (総数・自然・人工)}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数+年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数}}{\text{年間出生数+年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数 (生後1週(7日)未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$

(都道府県は5歳階級で算出し、5倍したものを合計している。)

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{基準人口集団のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢(年齢階級)の総和}}{\text{基準人口集団の総数}}$$

年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口、20ページ)にあてはめて算出した指標である。

なお、計算式中の「観察集団の各年齢(年齢階級)の死亡率」は、1,000倍されたものである。

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

結 果 の 概 要

1 出生数は減少

出生数は103万7231人で、前年の105万806人より1万3575人減少し、出生率（人口千対）は8.2で前年の8.3を下回った。合計特殊出生率は1.41で前年の1.39を上回った。（第1表）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15～34歳の各階級及び50歳以上では前年より減少したが、14歳以下及び35～49歳の各階級では増加した（第4表（1））。

合計特殊出生率の内訳を年齢（5歳階級）別にみると、15～29歳の各階級では前年より低下したが、30～49歳の各階級では上昇した。なお、30～34歳の階級が最も高くなっている。（第5表（1））

出生順位別にみると、出生数はいずれの出生順位についても前年より減少した。合計特殊出生率の内訳では第1子は前年を下回ったが、第2子及び第3子以上は前年を上回った。（第4表（2）、第5表（2））

母の年齢（5歳階級）別と出生順位別を併せてみると、出生数は35～39歳では第1子及び第2子が前年より増加し、40～49歳の各階級については、いずれの出生順位についても前年より増加した。合計特殊出生率の内訳は、30～44歳の各階級でいずれの出生順位についても前年を上回った。（第4表（3）、第5表（3））

2 死亡数は増加

死亡数は125万6359人で、前年の125万3066人より3293人増加し、死亡率（人口千対）は10.0で前年の9.9を上回った（第1表）。

悪性新生物の死亡数は36万963人で、死亡率（人口10万対）は286.6であり、死亡総数の28.7%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は肺炎である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.2、女2.7で前年より男は0.3、女は0.2それぞれ下回った（第1表）。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△21万9128人で、前年の△20万2260人より1万6868人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.7で前年の△1.6を下回り、数・率ともに6年連続でマイナスとなった（第1表、第2表－1、第2表－2）。

4 死産数は減少

死産数は2万4800胎で、前年の2万5751胎より951胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は23.4で、前年の23.9を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は増加

婚姻件数は66万8869組で、前年の66万1895組より6974組増加し、婚姻率（人口千対）は5.3で前年の5.2を上回った（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は23万5406組で、前年の23万5719組より313組減少し、離婚率（人口千対）は1.87で前年と同率となった（第1表）。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成24年	平成23年	対前年増減	平成24年	平成23年	平成24年	平成23年
出生	1 037 231	1 050 806	△13 575	8.2	8.3	分 秒 30"	分 秒 30"
男	531 781	538 271	△ 6 490	8.7	8.8	59"	59"
女	505 450	512 535	△ 7 085	7.8	7.9	1' 3"	1' 2"
死亡	1 256 359	1 253 066	3 293	10.0	9.9	25"	25"
男	655 526	656 540	△ 1 014	10.7	10.7	48"	48"
女	600 833	596 526	4 307	9.3	9.2	53"	53"
(再掲)							
乳児死亡	2 299	2 463	△ 164	2.2	2.3	229' 15"	213' 24"
新生児死亡	1 065	1 147	△ 82	1.0	1.1	494' 52"	458' 14"
自然増減	△ 219 128	△ 202 260	△16 868	△ 1.7	△ 1.6
死産	24 800	25 751	△ 951	23.4	23.9	21' 15"	20' 25"
自然死産	11 448	11 940	△ 492	10.8	11.1	46' 2"	44' 1"
人工死産	13 352	13 811	△ 459	12.6	12.8	39' 28"	38' 3"
周産期死亡	4 133	4 315	△ 182	4.0	4.1	127' 31"	121' 48"
妊娠満22週以後の死産	3 343	3 491	△ 148	3.2	3.3	157' 39"	150' 34"
早期新生児死亡	790	824	△ 34	0.8	0.8	667' 8"	637' 52"
婚姻	668 869	661 895	6 974	5.3	5.2	47"	48"
離婚	235 406	235 719	△ 313	1.87	1.87	2' 14"	2' 14"

	平成24年	平成23年
合計特殊出生率	1.41	1.39
年齢調整死亡率 男	5.2	5.5
女	2.7	2.9

注：1) 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
07	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
08	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
09	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
11	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
12	24	1 037 231	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 128

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 周産期死亡数は妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものである。

3) (参考)の周産期死亡数(妊娠満28週以後)は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものである。

平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

4) 死産数の総数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数
総数	自然死産	人工死産			
123 837	934 170	79 551
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475
29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832
28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136
27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353
26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378
25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719
24 800	11 448	13 352	4 133	668 869	235 406

(参考)

周産期 死亡数 (妊娠満28週以後) ³⁾	年次 ¹⁾	
...	昭和22年	1947
...	23	48
...	24	49
108 843	25	1950
99 865	26	51
91 527	27	52
85 932	28	53
79 776	29	54
75 918	30	55
75 706	31	56
70 502	32	57
72 625	33	58
69 912	34	59
66 552	35	1960
65 063	36	61
62 650	37	62
60 049	38	63
56 827	39	64
54 904	40	65
42 583	41	66
50 846	42	67
45 921	43	68
43 419	44	69
41 917	45	1970
40 900	46	71
38 754	47	72
37 598	48	73
34 383	49	74
30 513	50	75
27 133	51	76
24 708	52	77
22 217	53	78
20 481	54	79
18 385	55	1980
16 531	56	81
15 303	57	82
14 035	58	83
12 998	59	84
11 470	60	85
10 148	61	86
9 317	62	87
8 508	63	88
7 450	平成元年	89
7 001	2	1990
6 544	3	91
6 321	4	92
5 989	5	93
6 134	6	94
5 526	7	95
5 321	8	96
4 974	9	97
4 927	10	98
4 665	11	99
4 562	12	2000
4 238	13	01
4 224	14	02
3 995	15	03
3 671	16	04
3 492	17	05
3 420	18	06
3 306	19	07
3 178	20	08
3 096	21	09
3 065	22	2010
2 961	23	11
2 759	24	12

第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移

年次 ¹⁾		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ²⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	…	…
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
07	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
08	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
09	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
11	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
12	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。

周産期 死亡率 ³⁾ (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 (人口千対)		周産期 死亡率 (妊娠満28週以後) ⁴⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
				男	女			
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	昭和22年	1947
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	23	48
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	24	49
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	25	1950
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	26	51
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	27	52
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	28	53
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	29	54
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	30	55
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	31	56
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	32	57
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	33	58
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	34	59
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	35	1960
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	36	61
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	37	62
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	38	63
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	39	64
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	40	65
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	41	66
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	42	67
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	43	68
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	44	69
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	45	1970
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	46	71
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	47	72
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	48	73
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	49	74
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	50	75
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	51	76
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	52	77
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	53	78
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	54	79
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	55	1980
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	56	81
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	57	82
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	58	83
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	59	84
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	60	85
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	61	86
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	62	87
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	63	88
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	平成元年	89
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	2	1990
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	3	91
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	4	92
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	5	93
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	6	94
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	7	95
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	8	96
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	9	97
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	10	98
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	11	99
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	12	2000
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	13	01
5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7	14	02
5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6	15	03
5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3	16	04
4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3	17	05
4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1	18	06
4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0	19	07
4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9	20	08
4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9	21	09
4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9	22	2010
4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8	23	11
4.0	5.3	1.87	1.41	5.2	2.7	2.7	24	12

(参考)

4) (参考)の周産期死亡率(妊娠満28週以後)は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 037 231	531 781	505 450	1 256 359	655 526	600 833	2 299	1 222	1 077	1 065
北海道	38 686	19 750	18 936	58 066	30 834	27 232	88	50	38	43
青森	9 168	4 771	4 397	17 294	8 953	8 341	24	12	12	15
岩手	9 276	4 776	4 500	16 072	8 269	7 803	27	12	15	14
宮城	18 707	9 527	9 180	22 101	11 475	10 626	42	23	19	19
秋田	6 543	3 281	3 262	14 856	7 485	7 371	11	2	9	6
山形	8 212	4 206	4 006	14 752	7 416	7 336	23	14	9	16
福島	13 770	7 075	6 695	23 418	12 079	11 339	30	17	13	13
茨城	22 896	11 590	11 306	30 009	15 690	14 319	61	34	27	25
栃木	15 973	8 217	7 756	20 784	10 852	9 932	38	22	16	16
群馬	14 914	7 569	7 345	21 169	11 062	10 107	45	23	22	23
埼玉	56 943	29 155	27 788	59 137	32 440	26 697	114	56	58	50
千葉	48 881	25 169	23 712	53 206	28 934	24 272	135	65	70	64
東京都	107 401	54 985	52 416	109 194	58 203	50 991	236	129	107	117
神奈川	75 477	38 710	36 767	71 996	39 450	32 546	174	101	73	91
新潟	17 476	8 914	8 562	28 083	14 388	13 695	20	10	10	11
富山	7 880	4 077	3 803	12 754	6 503	6 251	17	13	4	8
石川	9 544	4 846	4 698	12 223	6 203	6 020	19	11	8	13
福井	6 712	3 452	3 260	8 795	4 427	4 368	14	9	5	9
山梨	6 336	3 193	3 143	9 555	4 826	4 729	13	7	6	4
長野	16 661	8 539	8 122	24 474	12 468	12 006	31	12	19	14
岐阜	16 496	8 372	8 124	21 531	11 126	10 405	27	15	12	13
静岡県	30 810	15 865	14 945	38 194	19 940	18 254	58	22	36	28
愛知	67 913	35 013	32 900	61 354	32 902	28 452	142	76	66	55
三重	14 729	7 492	7 237	19 210	9 934	9 276	48	21	27	15
滋賀	13 236	6 720	6 516	12 221	6 131	6 090	29	15	14	15
京都	20 111	10 442	9 669	25 416	12 828	12 588	40	20	20	24
大阪	73 012	37 419	35 593	80 472	43 006	37 466	154	97	57	62
兵庫県	46 436	23 854	22 582	53 657	27 858	25 799	79	47	32	20
奈良	10 565	5 405	5 160	13 656	7 021	6 635	25	14	11	7
和歌山	7 424	3 778	3 646	12 435	6 290	6 145	15	7	8	9
鳥取	4 771	2 402	2 369	7 074	3 492	3 582	9	3	6	7
島根	5 585	2 975	2 610	9 513	4 704	4 809	11	7	4	6
岡山	16 279	8 378	7 901	21 181	10 661	10 520	38	21	17	16
広島	24 846	12 723	12 123	29 273	15 008	14 265	57	26	31	26
山口	10 797	5 539	5 258	18 231	9 076	9 155	26	19	7	10
徳島	5 744	2 966	2 778	9 781	4 900	4 881	25	11	14	11
香川	8 161	4 162	3 999	11 369	5 697	5 672	15	9	6	8
愛媛	11 130	5 699	5 431	17 216	8 627	8 589	28	12	16	18
高知	5 266	2 671	2 595	10 142	5 096	5 046	13	5	8	8
福岡	45 815	23 560	22 255	48 957	24 729	24 228	94	50	44	47
佐賀	7 440	3 817	3 623	9 676	4 929	4 747	12	5	7	4
長崎	11 723	5 983	5 740	16 784	8 327	8 457	27	12	15	18
熊本	15 996	8 316	7 680	20 565	10 303	10 262	39	18	21	16
大分	9 650	5 038	4 612	14 050	6 986	7 064	24	13	11	9
宮崎	9 858	5 006	4 852	13 051	6 568	6 483	27	12	15	12
鹿児島	14 841	7 595	7 246	21 281	10 518	10 763	28	13	15	13
沖縄	17 074	8 749	8 325	10 626	5 637	4 989	46	30	16	16
不詳	67	40	27	170	137	33	-	-	-	-
(再掲)	1 335			1 138		197	1	-	1	1
東京都の区部	74 591	38 084	36 507	74 657	39 976	34 681	163	83	80	82
札幌市	14 487	7 415	7 072	16 228	8 666	7 562	34	18	16	13
仙台市	9 441	4 790	4 651	7 843	4 219	3 624	14	8	6	2
さいたま市	10 536	5 524	5 012	9 360	5 095	4 265	22	14	8	6
千葉市	7 707	3 919	3 788	7 403	4 165	3 238	24	11	13	13
横浜市	30 959	15 843	15 116	28 930	15 883	13 047	80	51	29	43
川崎市	14 257	7 405	6 852	9 716	5 502	4 214	30	14	16	16
相模原市	5 769	2 922	2 847	5 165	2 874	2 291	9	4	5	4
新潟市	6 369	3 265	3 104	8 027	4 188	3 839	10	3	7	6
静岡市	5 428	2 803	2 625	7 416	3 836	3 580	6	3	3	3
浜松市	7 137	3 642	3 495	7 570	3 900	3 670	19	5	14	11
名古屋市	19 610	10 067	9 543	19 680	10 578	9 102	43	21	22	14
京都市	11 050	5 749	5 301	13 984	6 916	7 068	20	10	10	13
大阪市	22 763	11 730	11 033	27 061	14 730	12 331	59	32	27	22
堺市	7 211	3 701	3 510	7 626	4 071	3 555	13	9	4	5
神戸市	12 357	6 336	6 021	14 754	7 696	7 058	19	10	9	4
岡山市	6 609	3 399	3 210	6 414	3 257	3 157	15	8	7	5
広島市	11 262	5 775	5 487	9 415	4 801	4 614	20	11	9	11
北九州市	8 213	4 175	4 038	10 389	5 316	5 073	24	11	13	8
福岡市	14 453	7 470	6 983	10 708	5 518	5 190	20	10	10	11
熊本市	7 144	3 755	3 389	6 413	3 233	3 180	21	13	8	7

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2 熊本市は平成24年4月から政令指定都市となったが、平成24年1月からの数値を計上している。

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満期 22週以後の死産	早産 新生児死亡			
△ 219 128	24 800	11 448	13 352	4 133	3 343	790	668 869	235 406	全 国
△ 19 380	1 177	473	704	160	130	30	26 538	11 593	北 海 道
△ 8 126	260	119	141	38	24	14	5 846	2 408	青 森 県
△ 6 796	263	144	119	56	46	10	5 629	1 975	岩 手 県
△ 3 394	487	222	265	71	58	13	12 315	3 957	宮 城 県
△ 8 313	171	82	89	27	21	6	4 020	1 495	秋 田 県
△ 6 540	216	90	126	40	29	11	4 881	1 687	山 形 県
△ 9 648	388	212	176	63	56	7	9 285	3 210	福 島 県
△ 7 113	577	274	303	110	91	19	14 477	5 261	茨 城 県
△ 4 811	383	170	213	66	56	10	10 225	3 688	栃 木 県
△ 6 255	387	172	215	72	51	21	9 246	3 520	群 馬 県
△ 2 194	1 390	693	697	249	207	42	36 776	13 434	埼 玉 県
△ 4 325	1 153	555	598	216	165	51	32 150	11 521	千 葉 県
△ 1 793	2 325	1 103	1 222	400	314	86	89 301	25 329	東 京 都
△ 3 481	1 588	776	812	304	234	70	51 530	16 812	神 奈 川 県
△ 10 607	406	194	212	67	58	9	10 219	3 222	新 潟 県
△ 4 874	199	114	85	39	32	7	4 871	1 548	富 山 県
△ 2 679	189	111	78	36	28	8	5 708	1 765	石 川 県
△ 2 083	169	81	88	31	24	7	3 634	1 240	福 井 県
△ 3 219	148	61	87	23	20	3	3 923	1 591	山 梨 県
△ 7 813	381	181	200	61	49	12	9 948	3 541	山 梨 県
△ 5 035	355	177	178	69	59	10	9 521	3 306	岐 阜 県
△ 7 384	647	316	331	104	86	18	19 323	6 878	静 岡 県
△ 6 559	1 434	678	756	261	223	38	42 704	13 494	愛 知 県
△ 4 481	319	152	167	62	50	12	9 006	3 237	三 重 県
△ 1 015	236	118	118	51	41	10	7 389	2 346	滋 賀 県
△ 5 305	464	207	257	77	60	17	13 189	4 646	京 都 府
△ 7 460	1 723	772	951	290	242	48	48 114	18 761	大 阪 府
△ 7 221	1 066	518	548	156	142	14	28 236	10 264	兵 庫 県
△ 3 091	269	124	145	35	31	4	6 223	2 390	和 歌 山 県
△ 5 011	159	64	95	30	22	8	4 664	1 959	和 歌 山 県
△ 2 303	115	49	66	25	19	6	2 759	1 065	鳥 取 県
△ 3 928	138	57	81	19	14	5	3 114	1 014	島 根 県
△ 4 902	357	140	217	55	43	12	9 570	3 518	岡 山 県
△ 4 427	526	260	266	100	81	19	14 668	5 074	広 島 県
△ 7 434	264	123	141	36	27	9	6 547	2 390	山 口 県
△ 4 037	143	65	78	25	18	7	3 370	1 254	徳 島 県
△ 3 208	165	91	74	41	33	8	4 789	1 887	香 川 県
△ 6 086	292	108	184	41	31	10	6 386	2 529	愛 媛 県
△ 4 876	153	58	95	24	19	5	3 257	1 403	高 知 県
△ 3 142	1 251	542	709	194	158	36	27 974	10 541	福 岡 県
△ 2 236	176	81	95	18	14	4	4 003	1 471	佐 賀 県
△ 5 061	325	146	179	46	37	9	6 335	2 450	長 崎 県
△ 4 569	436	150	286	49	39	10	8 965	3 377	熊 本 県
△ 4 400	269	96	173	36	31	5	5 652	2 187	大 宮 市
△ 3 193	321	121	200	31	23	8	5 667	2 421	大 宮 市
△ 6 440	419	159	260	51	41	10	8 080	3 113	鹿 児 島 県
△ 6 448	507	243	264	73	62	11	8 842	3 634	沖 縄 県
△ 103	10	4	6	2	2	-	.	.	外 国
.	4	2	2	3	2	1	.	.	不 詳
△ 66	1 653	785	868	285	224	61	67 518	18 210	(再掲)
△ 1 741	446	180	266	67	56	11	10 859	4 555	東 京 都 の 区 部
1 598	228	96	132	31	30	1	6 584	1 848	札 幌 市
1 176	219	93	126	30	25	5	6 902	2 162	仙 台 市
304	192	109	83	35	24	11	4 949	1 776	さい たま 市
2 029	623	329	294	138	102	36	20 990	6 631	千 葉 市
4 541	283	128	155	47	38	9	10 549	2 558	横 浜 市
604	131	55	76	21	18	3	3 790	1 468	川 崎 市
△ 1 658	145	70	75	29	24	5	3 968	1 154	相 模 原 市
△ 1 988	140	68	72	16	15	1	3 643	1 268	新 潟 市
△ 433	138	79	59	26	20	6	4 267	1 365	静 岡 市
△ 70	453	195	258	63	52	11	13 870	4 580	浜 松 市
△ 2 934	255	112	143	42	32	10	8 035	2 710	名 古 屋 市
△ 4 298	582	252	330	104	87	17	17 363	6 562	京 都 市
△ 415	153	71	82	29	26	3	4 367	1 814	大 阪 市
△ 2 397	320	145	175	35	32	3	8 140	3 046	堺 市
195	146	48	98	19	16	3	4 029	1 455	神 戸 市
1 847	209	103	106	44	34	10	6 672	2 227	岡 山 市
△ 2 176	251	104	147	38	33	5	5 113	2 075	廣 島 市
3 745	386	159	227	49	41	8	9 974	3 199	北 九 州 市
731	185	59	126	19	14	5	4 134	1 492	福 岡 市
									熊 本 市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出 産 千 対)		
全 国	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
北海道	7.1	10.7	2.3	1.1	△ 3.6	29.5	11.9	17.7
青森	6.8	12.8	2.6	1.6	△ 6.0	27.6	12.6	15.0
岩手	7.1	12.4	2.9	1.5	△ 5.2	27.6	15.1	12.5
宮城	8.1	9.5	2.2	1.0	△ 1.5	25.4	11.6	13.8
秋田	6.2	14.0	1.7	0.9	△ 7.8	25.5	12.2	13.3
山形	7.2	12.9	2.8	1.9	△ 5.7	25.6	10.7	15.0
福島	7.0	12.0	2.2	0.9	△ 4.9	27.4	15.0	12.4
茨城	7.9	10.3	2.7	1.1	△ 2.4	24.6	11.7	12.9
栃木	8.1	10.6	2.4	1.0	△ 2.4	23.4	10.4	13.0
群馬	7.6	10.8	3.0	1.5	△ 3.2	25.3	11.2	14.1
埼玉	8.0	8.3	2.0	0.9	△ 0.3	23.8	11.9	11.9
千代田	8.0	8.7	2.8	1.3	△ 0.7	23.0	11.1	12.0
東京都	8.3	8.5	2.2	1.1	△ 0.1	21.2	10.1	11.1
神奈川	8.4	8.0	2.3	1.2	0.4	20.6	10.1	10.5
新潟	7.5	12.0	1.1	0.6	△ 4.5	22.7	10.8	11.9
富山	7.4	11.9	2.2	1.0	△ 4.5	24.6	14.1	10.5
石川	8.3	10.6	2.0	1.4	△ 2.3	19.4	11.4	8.0
福井	8.5	11.1	2.1	1.3	△ 2.6	24.6	11.8	12.8
山梨	7.5	11.4	2.1	0.6	△ 3.8	22.8	9.4	13.4
長野	7.9	11.6	1.9	0.8	△ 3.7	22.4	10.6	11.7
岐阜	8.1	10.6	1.6	0.8	△ 2.5	21.1	10.5	10.6
静岡	8.4	10.4	1.9	0.9	△ 2.0	20.6	10.0	10.5
愛知	9.3	8.4	2.1	0.8	0.9	20.7	9.8	10.9
三重	8.1	10.6	3.3	1.0	△ 2.5	21.2	10.1	11.1
滋賀	9.5	8.8	2.2	1.1	0.7	17.5	8.8	8.8
京都	7.8	9.8	2.0	1.2	△ 2.1	22.6	10.1	12.5
大阪	8.4	9.3	2.1	0.8	△ 0.9	23.1	10.3	12.7
兵庫県	8.4	9.8	1.7	0.4	△ 1.3	22.4	10.9	11.5
奈良	7.7	9.9	2.4	0.7	△ 2.2	24.8	11.4	13.4
和歌山	7.6	12.7	2.0	1.2	△ 5.1	21.0	8.4	12.5
鳥取	8.3	12.2	1.9	1.5	△ 4.0	23.5	10.0	13.5
島根	8.0	13.6	2.0	1.1	△ 5.6	24.1	10.0	14.2
岡山	8.5	11.0	2.3	1.0	△ 2.6	21.5	8.4	13.0
広島	8.8	10.4	2.3	1.0	△ 1.6	20.7	10.2	10.5
山口	7.6	12.8	2.4	0.9	△ 5.2	23.9	11.1	12.7
徳島	7.4	12.7	4.4	1.9	△ 5.2	24.3	11.0	13.2
香川	8.3	11.6	1.8	1.0	△ 3.3	19.8	10.9	8.9
愛媛	7.9	12.2	2.5	1.6	△ 4.3	25.6	9.5	16.1
高知	7.0	13.5	2.5	1.5	△ 6.5	28.2	10.7	17.5
福岡	9.1	9.7	2.1	1.0	△ 0.6	26.6	11.5	15.1
佐賀	8.9	11.5	1.6	0.5	△ 2.7	23.1	10.6	12.5
長崎	8.4	12.0	2.3	1.5	△ 3.6	27.0	12.1	14.9
熊本	8.9	11.4	2.4	1.0	△ 2.5	26.5	9.1	17.4
大分	8.2	11.9	2.5	0.9	△ 3.7	27.1	9.7	17.4
宮崎	8.8	11.6	2.7	1.2	△ 2.8	31.5	11.9	19.6
鹿児島	8.8	12.6	1.9	0.9	△ 3.8	27.5	10.4	17.0
沖縄	12.2	7.6	2.7	0.9	4.6	28.8	13.8	15.0
(再掲)								
東京都の区部	8.3	8.3	2.2	1.1	△ 0.0	21.7	10.3	11.4
札幌市	7.5	8.4	2.3	0.9	△ 0.9	29.9	12.1	17.8
仙台市	8.9	7.4	1.5	0.2	1.5	23.6	9.9	13.7
さいたま市	8.5	7.6	2.1	0.6	1.0	20.4	8.6	11.7
千葉市	8.0	7.7	3.1	1.7	0.3	24.3	13.8	10.5
横浜市	8.4	7.8	2.6	1.4	0.5	19.7	10.4	9.3
川崎市	9.9	6.8	2.1	1.1	3.2	19.5	8.8	10.7
相模原市	8.0	7.2	1.6	0.7	0.8	22.2	9.3	12.9
新潟市	7.9	9.9	1.6	0.9	△ 2.0	22.3	10.7	11.5
静岡市	7.6	10.4	1.1	0.6	△ 2.8	25.1	12.2	12.9
浜松市	9.0	9.5	2.7	1.5	△ 0.5	19.0	10.9	8.1
名古屋市	8.7	8.7	2.2	0.7	△ 0.0	22.6	9.7	12.9
京都市	7.5	9.5	1.8	1.2	△ 2.0	22.6	9.9	12.6
大阪市	8.5	10.1	2.6	1.0	△ 1.6	24.9	10.8	14.1
堺市	8.6	9.1	1.8	0.7	△ 0.5	20.8	9.6	11.1
神戸市	8.0	9.6	1.5	0.3	△ 1.6	25.2	11.4	13.8
岡山市	9.3	9.0	2.3	0.8	0.3	21.6	7.1	14.5
広島市	9.5	8.0	1.8	1.0	1.6	18.2	9.0	9.2
北九州市	8.4	10.7	2.9	1.0	△ 2.2	29.7	12.3	17.4
福岡市	9.7	7.2	1.4	0.8	2.5	26.0	10.7	15.3
熊本市	9.7	8.7	2.9	1.0	1.0	25.2	8.1	17.2

注：1 全国には住所が外国・不詳を含む。
 2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」20ページ参照。
 3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。
 4 熊本市は平成24年4月から政令指定都市となったが、平成24年1月からの数値を計上している。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率 (出産千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率	都道府県
4.0	3.2	0.8	5.3	1.87	1.41	全 国
4.1	3.3	0.8	4.9	2.13	1.26	北 海 道
4.1	2.6	1.5	4.3	1.79	1.36	青 森 県
6.0	4.9	1.1	4.3	1.52	1.44	岩 手 県
3.8	3.1	0.7	5.3	1.71	1.30	宮 城 県
4.1	3.2	0.9	3.8	1.41	1.37	秋 田 県
4.9	3.5	1.3	4.3	1.47	1.44	山 形 県
4.6	4.1	0.5	4.7	1.64	1.41	福 島 県
4.8	4.0	0.8	5.0	1.81	1.41	茨 城 県
4.1	3.5	0.6	5.2	1.87	1.43	栃 木 県
4.8	3.4	1.4	4.7	1.80	1.39	群 馬 県
4.4	3.6	0.7	5.2	1.89	1.29	埼 玉 県
4.4	3.4	1.0	5.3	1.88	1.31	千 葉 県
3.7	2.9	0.8	6.9	1.96	1.09	東 京 都
4.0	3.1	0.9	5.8	1.88	1.30	神 奈 川 県
3.8	3.3	0.5	4.4	1.38	1.43	新 潟 県
4.9	4.0	0.9	4.5	1.44	1.42	富 山 県
3.8	2.9	0.8	4.9	1.53	1.47	石 川 県
4.6	3.6	1.0	4.6	1.57	1.60	福 井 県
3.6	3.1	0.5	4.7	1.89	1.43	山 梨 県
3.7	2.9	0.7	4.7	1.68	1.51	山 梨 県
4.2	3.6	0.6	4.7	1.63	1.45	岐 阜 県
3.4	2.8	0.6	5.2	1.87	1.52	静 岡 県
3.8	3.3	0.6	5.9	1.85	1.46	愛 知 県
4.2	3.4	0.8	5.0	1.79	1.47	三 重 県
3.8	3.1	0.8	5.3	1.68	1.53	滋 賀 県
3.8	3.0	0.8	5.1	1.80	1.23	京 都 府
4.0	3.3	0.7	5.5	2.16	1.31	大 阪 府
3.3	3.0	0.3	5.1	1.87	1.40	兵 庫 県
3.3	2.9	0.4	4.5	1.73	1.32	奈 良 県
4.0	3.0	1.1	4.7	1.99	1.53	和 歌 山 県
5.2	4.0	1.3	4.8	1.84	1.57	鳥 取 県
3.4	2.5	0.9	4.4	1.44	1.68	島 根 県
3.4	2.6	0.7	5.0	1.83	1.47	岡 山 県
4.0	3.2	0.8	5.2	1.80	1.54	広 島 県
3.3	2.5	0.8	4.6	1.68	1.52	山 口 県
4.3	3.1	1.2	4.4	1.62	1.44	徳 島 県
5.0	4.0	1.0	4.9	1.92	1.56	香 川 県
3.7	2.8	0.9	4.5	1.80	1.52	愛 媛 県
4.5	3.6	0.9	4.3	1.87	1.43	高 知 県
4.2	3.4	0.8	5.5	2.09	1.43	福 岡 県
2.4	1.9	0.5	4.8	1.75	1.61	佐 賀 県
3.9	3.1	0.8	4.5	1.75	1.63	長 崎 県
3.1	2.4	0.6	5.0	1.88	1.62	熊 本 県
3.7	3.2	0.5	4.8	1.86	1.53	大 分 県
3.1	2.3	0.8	5.1	2.16	1.67	宮 崎 県
3.4	2.8	0.7	4.8	1.85	1.64	鹿 児 島 県
4.3	3.6	0.6	6.3	2.59	1.90	沖 縄 県
						(再掲)
3.8	3.0	0.8	7.5	2.02	…	東京都の区部
4.6	3.9	0.8	5.6	2.36	…	札 幌 市
3.3	3.2	0.1	6.2	1.74	…	仙 台 市
2.8	2.4	0.5	5.6	1.75	…	さいたま市
4.5	3.1	1.4	5.1	1.84	…	千 葉 市
4.4	3.3	1.2	5.7	1.79	…	横 浜 市
3.3	2.7	0.6	7.3	1.78	…	川 崎 市
3.6	3.1	0.5	5.3	2.04	…	相 模 原 市
4.5	3.8	0.8	4.9	1.42	…	新 潟 市
2.9	2.8	0.2	5.1	1.78	…	静 岡 市
3.6	2.8	0.8	5.4	1.71	…	浜 松 市
3.2	2.6	0.6	6.1	2.02	…	名 古 屋 市
3.8	2.9	0.9	5.5	1.84	…	京 都 市
4.6	3.8	0.7	6.5	2.45	…	大 阪 市
4.0	3.6	0.4	5.2	2.15	…	堺 市
2.8	2.6	0.2	5.3	1.98	…	神 戸 市
2.9	2.4	0.5	5.7	2.04	…	岡 山 市
3.9	3.0	0.9	5.6	1.89	…	広 島 市
4.6	4.0	0.6	5.3	2.13	…	北 九 州 市
3.4	2.8	0.6	6.7	2.14	…	福 岡 市
2.7	2.0	0.7	5.6	2.02	…	熊 本 市

注： 1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除したものである。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除したものである。

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	21年	22年	23年	24年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 231
14歳以下	23	37	43	42	67	51	44	59
15～19	17 854	16 075	19 729	16 531	14 620	13 495	13 274	12 711
20～24	247 341	193 514	161 361	128 135	116 808	110 956	104 059	95 805
25～29	682 885	492 714	470 833	339 328	307 765	306 910	300 384	292 464
30～34	381 466	371 773	396 901	404 700	389 793	384 385	373 490	367 715
35～39	93 501	100 053	126 409	153 440	209 706	220 101	221 272	225 480
40～44	8 224	12 472	14 848	19 750	30 566	34 609	37 437	42 031
45～49	244	414	396	564	684	773	802	928
50歳以上	1	-	6	34	20	19	41	32

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	12年	17年	21年	22年	23年	24年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 231
第1子	602 005	567 530	583 220	512 412	512 742	509 736	494 712	484 710
第2子	562 920	428 394	434 964	399 307	390 073	390 212	383 666	382 461
第3子以上	266 652	191 140	172 363	150 811	167 220	171 356	172 428	170 060

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成24年				平成23年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 037 231	484 710	382 461	170 060	1 050 806	494 712	383 666	172 428
14歳以下	59	59	-	-	44	43	1	-
15～19	12 711	11 358	1 292	61	13 274	11 857	1 349	68
20～24	95 805	63 625	26 981	5 199	104 059	69 536	29 120	5 403
25～29	292 464	163 841	96 211	32 412	300 384	169 533	97 665	33 186
30～34	367 715	153 147	149 088	65 480	373 490	154 997	151 689	66 804
35～39	225 480	76 849	93 047	55 584	221 272	74 945	89 944	56 383
40～44	42 031	15 413	15 568	11 050	37 437	13 451	13 671	10 315
45～49	928	389	267	272	802	324	214	264
50歳以上	32	24	7	1	41	23	13	5

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率（内訳）

（1）年齢（5歳階級）別

年 齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	21年	22年	23年	24年
総 数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.37	1.39	1.39	1.41
15～19歳	0.0229	0.0185	0.0269	0.0253	0.0249	0.0232	0.0227	0.0219
20～24	0.3173	0.2022	0.1965	0.1823	0.1779	0.1781	0.1710	0.1607
25～29	0.8897	0.5880	0.4967	0.4228	0.4320	0.4356	0.4349	0.4326
30～34	0.4397	0.4677	0.4620	0.4285	0.4756	0.4789	0.4837	0.4916
35～39	0.0846	0.1311	0.1572	0.1761	0.2217	0.2318	0.2390	0.2526
40～44	0.0094	0.0148	0.0194	0.0242	0.0354	0.0387	0.0408	0.0448
45～49	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0009	0.0010	0.0011	0.0012

注：年齢階級別の数値は各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

（2）出生順位別

出 生 順 位	昭和60年	平成7年	12年	17年	21年	22年	23年	24年
総 数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.37	1.39	1.39	1.41
第1子	0.7611	0.6607	0.6617	0.6240	0.6782	0.6835	0.6787	0.6781
第2子	0.6950	0.5209	0.4949	0.4643	0.4889	0.4956	0.4996	0.5095
第3子以上	0.3078	0.2410	0.2026	0.1717	0.2013	0.2082	0.2150	0.2176

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の各歳の年齢別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

（3）年齢（5歳階級）・出生順位別

年 齢	平成24年				平成23年			
	総 数	第1子	第2子	第3子以上	総 数	第1子	第2子	第3子以上
総 数	1.41	0.6781	0.5095	0.2176	1.39	0.6787	0.4996	0.2150
15～19歳	0.0219	0.0195	0.0022	0.0001	0.0227	0.0203	0.0023	0.0001
20～24	0.1607	0.1069	0.0452	0.0086	0.1710	0.1146	0.0477	0.0088
25～29	0.4326	0.2429	0.1420	0.0477	0.4349	0.2458	0.1412	0.0479
30～34	0.4916	0.2057	0.1989	0.0869	0.4837	0.2018	0.1960	0.0858
35～39	0.2526	0.0861	0.1043	0.0621	0.2390	0.0810	0.0972	0.0608
40～44	0.0448	0.0164	0.0166	0.0118	0.0408	0.0147	0.0149	0.0112
45～49	0.0012	0.0005	0.0003	0.0003	0.0011	0.0005	0.0003	0.0004

注：1 年齢階級別の数値は各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の各歳の年齢別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成 24 年			平成 23 年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
総 数								
全 死 因	1 256 359	997.5	100.0	1 253 066	993.1	100.0	3 293	4.4
悪 性 新 生 物	(1) 360 963	286.6	28.7	(1) 357 305	283.2	28.5	3 658	3.4
心 疾 患	(2) 198 836	157.9	15.8	(2) 194 926	154.5	15.6	3 910	3.4
肺 炎	(3) 123 925	98.4	9.9	(3) 124 749	98.9	10.0	△ 824	△ 0.5
脳 血 管 疾 患	(4) 121 602	96.5	9.7	(4) 123 867	98.2	9.9	△ 2 265	△ 1.7
老 衰	(5) 60 719	48.2	4.8	(6) 52 242	41.4	4.2	8 477	6.8
不 慮 の 事 故	(6) 41 031	32.6	3.3	(5) 59 416	47.1	4.7	△ 18 385	△ 14.5
自 殺	(7) 26 433	21.0	2.1	(7) 28 896	22.9	2.3	△ 2 463	△ 1.9
腎 不 全	(8) 25 107	19.9	2.0	(8) 24 526	19.4	2.0	581	0.5
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	(9) 16 402	13.0	1.3	(9) 16 639	13.2	1.3	△ 237	△ 0.2
肝 疾 患	(10) 15 980	12.7	1.3	(10) 16 390	13.0	1.3	△ 410	△ 0.3
男								
全 死 因	655 526	1 068.9	100.0	656 540	1 068.4	100.0	△ 1 014	0.5
悪 性 新 生 物	(1) 215 110	350.8	32.8	(1) 213 190	346.9	32.5	1 920	3.9
心 疾 患	(2) 92 976	151.6	14.2	(2) 91 298	148.6	13.9	1 678	3.0
肺 炎	(3) 66 386	108.2	10.1	(3) 66 601	108.4	10.1	△ 215	△ 0.2
脳 血 管 疾 患	(4) 58 625	95.6	8.9	(4) 59 616	97.0	9.1	△ 991	△ 1.4
不 慮 の 事 故	(5) 23 714	38.7	3.6	(5) 32 483	52.9	4.9	△ 8 769	△ 14.2
自 殺	(6) 18 485	30.1	2.8	(6) 19 904	32.4	3.0	△ 1 419	△ 2.3
老 衰	(7) 14 737	24.0	2.2	(8) 12 525	20.4	1.9	2 212	3.6
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	(8) 12 866	21.0	2.0	(7) 12 998	21.2	2.0	△ 132	△ 0.2
腎 不 全	(9) 11 835	19.3	1.8	(9) 11 587	18.9	1.8	248	0.4
肝 疾 患	(10) 10 441	17.0	1.6	(10) 10 644	17.3	1.6	△ 203	△ 0.3
女								
全 死 因	600 833	929.7	100.0	596 526	921.6	100.0	4 307	8.1
悪 性 新 生 物	(1) 145 853	225.7	24.3	(1) 144 115	222.7	24.2	1 738	3.0
心 疾 患	(2) 105 860	163.8	17.6	(2) 103 628	160.1	17.4	2 232	3.7
脳 血 管 疾 患	(3) 62 977	97.4	10.5	(3) 64 251	99.3	10.8	△ 1 274	△ 1.9
肺 炎	(4) 57 539	89.0	9.6	(4) 58 148	89.8	9.7	△ 609	△ 0.8
老 衰	(5) 45 982	71.1	7.7	(5) 39 717	61.4	6.7	6 265	9.7
不 慮 の 事 故	(6) 17 317	26.8	2.9	(6) 26 933	41.6	4.5	△ 9 616	△ 14.8
腎 不 全	(7) 13 272	20.5	2.2	(7) 12 939	20.0	2.2	333	0.5
自 殺	(8) 7 948	12.3	1.3	(8) 8 992	13.9	1.5	△ 1 044	△ 1.6
大 動 脈 瘤 及 び 解 離	(9) 7 517	11.6	1.3	(9) 7 394	11.4	1.2	123	0.2
糖 尿 病	(10) 6 847	10.6	1.1	(10) 6 926	10.7	1.2	△ 79	△ 0.1

注：1 ()内の数字は、死因順位を示す。

2 「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平 成 24 年						平 成 23 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 256 359	655 526	600 833	997.5	1 068.9	929.7	1 253 066	993.1
01000	感染症及び寄生虫症	26 739	12 975	13 764	21.2	21.2	21.3	26 357	20.9
01100	腸管感染症	2 714	1 147	1 567	2.2	1.9	2.4	2 319	1.8
01200	結核	2 110	1 279	831	1.7	2.1	1.3	2 166	1.7
01201	呼吸器結核	1 857	1 179	678	1.5	1.9	1.0	1 908	1.5
01202	その他の結核	253	100	153	0.2	0.2	0.2	258	0.2
01300	敗血症	11 486	5 556	5 930	9.1	9.1	9.2	11 197	8.9
01400	ウイルス肝炎	5 240	2 336	2 904	4.2	3.8	4.5	5 576	4.4
01401	B型ウイルス肝炎	481	290	191	0.4	0.5	0.3	517	0.4
01402	C型ウイルス肝炎	4 484	1 900	2 584	3.6	3.1	4.0	4 737	3.8
01403	その他のウイルス肝炎	275	146	129	0.2	0.2	0.2	322	0.3
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	50	48	2	0.0	0.1	0.0	53	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	5 139	2 609	2 530	4.1	4.3	3.9	5 046	4.0
02000	新生物	371 909	220 747	151 162	295.3	359.9	233.9	367 791	291.5
02100	悪性新生物	360 963	215 110	145 853	286.6	350.8	225.7	357 305	283.2
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	7 167	5 166	2 001	5.7	8.4	3.1	6 888	5.5
02102	食道の悪性新生物	11 592	9 724	1 868	9.2	15.9	2.9	11 970	9.5
02103	胃の悪性新生物	49 129	32 206	16 923	39.0	52.5	26.2	49 830	39.5
02104	結腸の悪性新生物	32 177	16 006	16 171	25.5	26.1	25.0	31 050	24.6
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	15 099	9 523	5 576	12.0	15.5	8.6	14 694	11.6
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	30 690	20 060	10 630	24.4	32.7	16.4	31 875	25.3
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	18 209	8 964	9 245	14.5	14.6	14.3	18 186	14.4
02108	膵の悪性新生物	29 916	15 517	14 399	23.8	25.3	22.3	28 829	22.8
02109	喉頭の悪性新生物	953	870	83	0.8	1.4	0.1	954	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	71 518	51 372	20 146	56.8	83.8	31.2	70 293	55.7
02111	皮膚の悪性新生物	1 556	735	821	1.2	1.2	1.3	1 453	1.2
02112	乳房の悪性新生物	12 617	88	12 529	10.0	0.1	19.4	12 838	10.2
02113	子宮の悪性新生物	6 113	・	6 113	¹⁾ 9.5	・	9.5	6 075	¹⁾ 9.4
02114	卵巣の悪性新生物	4 688	・	4 688	¹⁾ 7.3	・	7.3	4 705	¹⁾ 7.3
02115	前立腺の悪性新生物	11 143	11 143	・	²⁾ 18.2	18.2	・	10 823	²⁾ 17.6
02116	膀胱の悪性新生物	7 299	5 003	2 296	5.8	8.2	3.6	7 008	5.6
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 201	1 257	944	1.7	2.0	1.5	2 144	1.7
02118	悪性リンパ腫	10 831	6 069	4 762	8.6	9.9	7.4	10 336	8.2
02119	白血病	7 900	4 779	3 121	6.3	7.8	4.8	8 156	6.5
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 121	2 119	2 002	3.3	3.5	3.1	4 120	3.3
02121	その他の悪性新生物	26 044	14 509	11 535	20.7	23.7	17.8	25 078	19.9
02200	その他の新生物	10 946	5 637	5 309	8.7	9.2	8.2	10 486	8.3
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 642	1 281	1 361	2.1	2.1	2.1	2 729	2.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 304	4 356	3 948	6.6	7.1	6.1	7 757	6.1
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 459	1 943	2 516	3.5	3.2	3.9	4 382	3.5
03100	貧血	1 924	756	1 168	1.5	1.2	1.8	1 798	1.4
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	2 535	1 187	1 348	2.0	1.9	2.1	2 584	2.0
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	22 168	10 980	11 188	17.6	17.9	17.3	22 133	17.5
04100	糖尿病	14 486	7 639	6 847	11.5	12.5	10.6	14 664	11.6
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7 682	3 341	4 341	6.1	5.4	6.7	7 469	5.9

注：1）女性人口10万対である。

2）男性人口10万対である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成 24 年						平成 23 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
05000	精神及び行動の障害	10 768	3 310	7 458	8.5	5.4	11.5	9 508	7.5
05100	血管性及び詳細不明の認知症	8 888	2 413	6 475	7.1	3.9	10.0	7 742	6.1
05200	その他の精神及び行動の障害	1 880	897	983	1.5	1.5	1.5	1 766	1.4
06000	神経系の疾患	24 361	11 547	12 814	19.3	18.8	19.8	21 998	17.4
06100	髄膜炎	322	175	147	0.3	0.3	0.2	322	0.3
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 163	1 250	913	1.7	2.0	1.4	2 084	1.7
06300	パーキンソン病	6 076	2 883	3 193	4.8	4.7	4.9	5 701	4.5
06400	アルツハイマー病	6 873	2 332	4 541	5.5	3.8	7.0	5 399	4.3
06500	その他の神経系の疾患	8 927	4 907	4 020	7.1	8.0	6.2	8 492	6.7
07000	眼及び付属器の疾患	2	1	1	0.0	0.0	0.0	13	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	12	7	5	0.0	0.0	0.0	15	0.0
09000	循環器系の疾患	350 912	166 023	184 889	278.6	270.7	286.1	348 836	276.5
09100	高血圧性疾患	7 261	2 738	4 523	5.8	4.5	7.0	7 023	5.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 819	1 383	2 436	3.0	2.3	3.8	3 649	2.9
09102	その他の高血圧性疾患	3 442	1 355	2 087	2.7	2.2	3.2	3 374	2.7
09200	心疾患（高血圧性を除く）	198 836	92 976	105 860	157.9	151.6	163.8	194 926	154.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 493	769	1 724	2.0	1.3	2.7	2 422	1.9
09202	急性心筋梗塞	42 107	23 406	18 701	33.4	38.2	28.9	43 265	34.3
09203	その他の虚血性心疾患	35 472	20 095	15 377	28.2	32.8	23.8	34 576	27.4
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	9 913	3 124	6 789	7.9	5.1	10.5	9 437	7.5
09205	心筋症	3 737	2 207	1 530	3.0	3.6	2.4	3 692	2.9
09206	不整脈及び伝導障害	28 378	13 919	14 459	22.5	22.7	22.4	27 346	21.7
09207	心不全	71 616	26 781	44 835	56.9	43.7	69.4	69 368	55.0
09208	その他の心疾患	5 120	2 675	2 445	4.1	4.4	3.8	4 820	3.8
09300	脳血管疾患	121 602	58 625	62 977	96.5	95.6	97.4	123 867	98.2
09301	くも膜下出血	13 004	4 913	8 091	10.3	8.0	12.5	13 460	10.7
09302	脳内出血	33 605	18 497	15 108	26.7	30.2	23.4	34 062	27.0
09303	脳梗塞	71 962	33 822	38 140	57.1	55.1	59.0	73 273	58.1
09304	その他の脳血管疾患	3 031	1 393	1 638	2.4	2.3	2.5	3 072	2.4
09400	大動脈瘤及び解離	15 831	8 314	7 517	12.6	13.6	11.6	15 599	12.4
09500	その他の循環器系の疾患	7 382	3 370	4 012	5.9	5.5	6.2	7 421	5.9
10000	呼吸器系の疾患	201 798	113 518	88 280	160.2	185.1	136.6	198 395	157.2
10100	インフルエンザ	1 275	582	693	1.0	0.9	1.1	574	0.5
10200	肺炎	123 925	66 386	57 539	98.4	108.2	89.0	124 749	98.9
10300	急性気管支炎	564	227	337	0.4	0.4	0.5	575	0.5
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 402	12 866	3 536	13.0	21.0	5.5	16 639	13.2
10500	喘息	1 874	769	1 105	1.5	1.3	1.7	2 060	1.6
10600	その他の呼吸器系の疾患	57 758	32 688	25 070	45.9	53.3	38.8	53 798	42.6
11000	消化器系の疾患	47 255	24 908	22 347	37.5	40.6	34.6	46 755	37.1
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 132	1 697	1 435	2.5	2.8	2.2	3 110	2.5
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 624	3 001	3 623	5.3	4.9	5.6	6 442	5.1
11300	肝疾患	15 980	10 441	5 539	12.7	17.0	8.6	16 390	13.0
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 155	4 582	3 573	6.5	7.5	5.5	8 511	6.7
11302	その他の肝疾患	7 825	5 859	1 966	6.2	9.6	3.0	7 879	6.2
11400	その他の消化器系の疾患	21 519	9 769	11 750	17.1	15.9	18.2	20 813	16.5

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 24 年						平成 23 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 514	547	967	1.2	0.9	1.5	1 468	1.2
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 768	2 166	3 602	4.6	3.5	5.6	5 775	4.6
14000	腎尿路生殖器系の疾患	35 782	15 714	20 068	28.4	25.6	31.1	34 707	27.5
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	4 153	1 555	2 598	3.3	2.5	4.0	4 072	3.2
14200	腎不全	25 107	11 835	13 272	19.9	19.3	20.5	24 526	19.4
14201	急性腎不全	3 896	1 738	2 158	3.1	2.8	3.3	4 077	3.2
14202	慢性腎不全	15 484	7 588	7 896	12.3	12.4	12.2	15 085	12.0
14203	詳細不明の腎不全	5 727	2 509	3 218	4.5	4.1	5.0	5 364	4.3
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	6 522	2 324	4 198	5.2	3.8	6.5	6 109	4.8
15000	妊娠、分娩及び産じょく	50	・	50	¹⁾ 0.1	・	0.1	43	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	601	316	285	0.5	0.5	0.4	637	0.5
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	59	24	35	0.0	0.0	0.1	71	0.1
16200	出産外傷	8	5	3	0.0	0.0	0.0	3	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	326	171	155	0.3	0.3	0.2	328	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	38	25	13	0.0	0.0	0.0	49	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	81	53	28	0.1	0.1	0.0	86	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	89	38	51	0.1	0.1	0.1	100	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 041	946	1 095	1.6	1.5	1.7	2 102	1.7
17100	神経系の先天奇形	99	50	49	0.1	0.1	0.1	102	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 004	461	543	0.8	0.8	0.8	1 079	0.9
17201	心臓の先天奇形	731	338	393	0.6	0.6	0.6	785	0.6
17202	その他の循環器系の先天奇形	273	123	150	0.2	0.2	0.2	294	0.2
17300	消化器系の先天奇形	117	48	69	0.1	0.1	0.1	98	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	501	253	248	0.4	0.4	0.4	528	0.4
17500	染色体異常、他に分類されないもの	320	134	186	0.3	0.2	0.3	295	0.2
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	76 751	24 298	52 453	60.9	39.6	81.2	68 037	53.9
18100	老衰	60 719	14 737	45 982	48.2	24.0	71.1	52 242	41.4
18200	乳幼児突然死症候群	152	95	57	0.1	0.2	0.1	148	0.1
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	15 880	9 466	6 414	12.6	15.4	9.9	15 647	12.4
20000	傷病及び死亡の外因	73 469	45 580	27 889	58.3	74.3	43.2	94 114	74.6
20100	不慮の事故	41 031	23 714	17 317	32.6	38.7	26.8	59 416	47.1
20101	交通事故	6 414	4 294	2 120	5.1	7.0	3.3	6 741	5.3
20102	転倒・転落	7 761	4 471	3 290	6.2	7.3	5.1	7 686	6.1
20103	不慮の溺死及び溺水	7 963	4 129	3 834	6.3	6.7	5.9	7 356	5.8
20104	不慮の窒息	10 338	5 279	5 059	8.2	8.6	7.8	9 878	7.8
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 347	836	511	1.1	1.4	0.8	1 434	1.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	789	501	288	0.6	0.8	0.4	942	0.7
20107	その他の不慮の事故	6 419	4 204	2 215	5.1	6.9	3.4	25 379	20.1
20200	自殺	26 433	18 485	7 948	21.0	30.1	12.3	28 896	22.9
20300	他殺	383	183	200	0.3	0.3	0.3	415	0.3
20400	その他の外因	5 622	3 198	2 424	4.5	5.2	3.8	5 387	4.3
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-	-	-	-

(別表)

日本における外国人の人口動態

平成24年

国籍	出生数(母の国籍別)			死亡数			乳児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	13 484	7 009	6 475	6 716	3 762	2 954	33
韓国・朝鮮	1 212	635	577	4 834	2 682	2 152	2
中国	5 048	2 599	2 449	631	347	284	8
フィリピン	1 527	774	753	115	29	86	1
タイ	113	65	48	34	6	28	-
米国	225	120	105	178	108	70	10
英国	43	20	23	14	8	6	-
ブラジル	1 964	1 057	907	170	116	54	3
ペルー	538	283	255	35	20	15	-
その他の国	2 814	1 456	1 358	705	446	259	9

国籍	死産数 (母の国籍別)	婚姻件数		離婚件数	
		夫	妻	夫	妻
総数	441	3 420		1 590	
韓国・朝鮮	70	590	592	286	245
中国	120	522	634	810	842
フィリピン	80	72	264	11	76
タイ	11	56	81	42	59
米国	18	512	314	8	5
英国	-	32	19	-	1
ブラジル	33	713	646	90	57
ペルー	22	150	165	57	45
その他の国	87	773	705	286	260

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

出生・死産は両親とも外国籍のもの、または嫡出でない子のうち母の国籍が外国のもの

死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成24年

出生数			死亡数			婚姻件数	離婚件数
総数	男	女	総数	男	女		
16 205	8 286	7 919	1 716	1 067	649	11 847	2 162

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの

死亡は死亡した者が日本国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

付 表

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	125 957 000	61 328 000	64 630 000
北海道	5 442 000	2 569 000	2 873 000
青森	1 347 000	633 000	714 000
岩手	1 299 000	622 000	678 000
宮城	2 315 000	1 127 000	1 188 000
秋田	1 060 000	498 000	562 000
山形	1 146 000	551 000	595 000
福島	1 955 000	952 000	1 003 000
茨城	2 907 000	1 450 000	1 457 000
栃木	1 968 000	979 000	989 000
群馬	1 959 000	965 000	994 000
埼玉	7 126 000	3 574 000	3 552 000
千葉	6 119 000	3 052 000	3 067 000
東京	12 916 000	6 391 000	6 525 000
神奈川	8 947 000	4 488 000	4 458 000
新潟	2 336 000	1 131 000	1 205 000
富山	1 072 000	518 000	554 000
石川	1 154 000	558 000	596 000
福井	789 000	382 000	407 000
山梨	841 000	412 000	429 000
長野	2 106 000	1 026 000	1 081 000
岐阜	2 029 000	984 000	1 045 000
静岡	3 683 000	1 814 000	1 869 000
愛知	7 277 000	3 641 000	3 636 000
三重	1 811 000	882 000	929 000
滋賀	1 396 000	689 000	707 000
京都	2 584 000	1 240 000	1 344 000
大阪	8 697 000	4 200 000	4 496 000
兵庫	5 496 000	2 628 000	2 868 000
奈良	1 381 000	653 000	728 000
和歌山	983 000	463 000	521 000
鳥取	578 000	276 000	302 000
島根	702 000	337 000	366 000
岡山	1 919 000	921 000	998 000
広島	2 817 000	1 360 000	1 457 000
山口	1 420 000	670 000	750 000
徳島	772 000	367 000	405 000
香川	982 000	474 000	509 000
愛媛	1 408 000	662 000	745 000
高知	749 000	351 000	397 000
福岡	5 044 000	2 380 000	2 664 000
佐賀	840 000	396 000	444 000
長崎	1 402 000	655 000	747 000
熊本	1 799 000	846 000	953 000
大分	1 178 000	557 000	621 000
宮崎	1 122 000	527 000	595 000
鹿児島	1 684 000	788 000	896 000
沖縄	1 401 000	687 000	714 000

資料：「人口推計（平成24年10月1日現在）」（総務省統計局）

5歳階級・男女別人口（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総 数	125 957 000	61 328 000	64 630 000
0 ～ 4歳	5 224 000	2 675 000	2 549 000
5 ～ 9	5 364 000	2 746 000	2 618 000
10 ～ 14	5 823 000	2 983 000	2 840 000
15 ～ 19	5 981 000	3 068 000	2 913 000
20 ～ 24	6 077 000	3 117 000	2 960 000
25 ～ 29	6 849 000	3 495 000	3 354 000
30 ～ 34	7 644 000	3 889 000	3 756 000
35 ～ 39	9 268 000	4 712 000	4 556 000
40 ～ 44	9 318 000	4 727 000	4 591 000
45 ～ 49	8 082 000	4 077 000	4 005 000
50 ～ 54	7 587 000	3 802 000	3 785 000
55 ～ 59	7 882 000	3 917 000	3 966 000
60 ～ 64	10 188 000	4 997 000	5 191 000
65 ～ 69	8 161 000	3 914 000	4 247 000
70 ～ 74	7 364 000	3 426 000	3 938 000
75 ～ 79	6 231 000	2 730 000	3 501 000
80 ～ 84	4 618 000	1 822 000	2 796 000
85 ～ 89	2 773 000	899 000	1 873 000
90 ～ 94	1 143 000	265 000	878 000
95 ～ 99	330 000	60 000	270 000
100歳以上	51 000	7 000	44 000

資料：「人口推計（平成24年10月1日現在）」（総務省統計局）

21大都市・男女別人口（総人口）

21大都市 （再掲）	総数	男	女
東京都の区部	8 996 000	4 430 000	4 566 000
札幌市	1 929 000	901 000	1 028 000
仙台市	1 061 000	516 000	545 000
さいたま市	1 235 000	617 000	619 000
千葉市	964 000	480 000	483 000
横浜市	3 697 000	1 848 000	1 849 000
川崎市	1 439 000	733 000	706 000
相模原市	720 000	361 000	358 000
新潟市	811 000	390 000	421 000
静岡市	712 000	347 000	366 000
浜松市	797 000	395 000	402 000
名古屋市	2 267 000	1 116 000	1 151 000
京都市	1 473 000	700 000	773 000
大阪市	2 677 000	1 299 000	1 378 000
堺市	842 000	404 000	438 000
神戸市	1 542 000	728 000	814 000
岡山市	713 000	342 000	370 000
広島市	1 181 000	569 000	613 000
北九州市	972 000	457 000	515 000
福岡市	1 492 000	705 000	787 000
熊本市	738 000	346 000	392 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成24年10月1日現在の総人口である。

基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0 ～ 4歳	8 180 000	50 ～ 54歳	7 616 000
5 ～ 9	8 338 000	55 ～ 59	6 581 000
10 ～ 14	8 497 000	60 ～ 64	5 546 000
15 ～ 19	8 655 000	65 ～ 69	4 511 000
20 ～ 24	8 814 000	70 ～ 74	3 476 000
25 ～ 29	8 972 000	75 ～ 79	2 441 000
30 ～ 34	9 130 000	80 ～ 84	1 406 000
35 ～ 39	9 289 000	85歳以上	784 000
40 ～ 44	9 400 000		
45 ～ 49	8 651 000	総 数	120 287 000

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の 2 つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
 - A 「期間」合計特殊出生率
ある期間（1 年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49 歳）の女性の出生率を合計したもの。
女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。
 - B 「コーホート」合計特殊出生率
ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49 歳）の出生率を過去から積み上げたもの。
「その世代の出生率」である。
- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は B のコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が 50 歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとして A の期間合計特殊出生率が一般に用いられている。
なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの合計特殊出生率は同じ値になる。
- ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計である A の期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計である B のコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成 24 年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が 50 歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5 歳階級ごとに 1 つの世代とみて、5 年ごとの出生率を合計し、算出した^{*)}。

例えば 1973～1977 年生まれ（平成 24 年における 35～39 歳の世代）についての 39 歳までのコーホート合計特殊出生率は約 1.39 であるが、40 歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.39 に今後の 40 歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により 40 歳以上の出生率（平成 24 年 0.0460）が上昇傾向であることから、少なくとも平成 24 年の期間合計特殊出生率（1.41）を上回ると見込まれる。

^{*)} 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和57年 (1982)	62年 (1987)	平成4年 (1992)	9年 (1997)	14年 (2002)	19年 (2007)	平成24年 (2012)
年齢	1.77	1.69	1.50	1.39	1.32	1.34	1.41
15～19歳	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246	0.0219
20～24	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	0.1607
25～29	0.9230	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341	0.4326
30～34	0.3886	0.4597	0.4704	0.4700	0.4410	0.4614	0.4916
35～39	0.0709	0.0933	0.1174	0.1424	0.1633	0.2025	0.2526
40～44	0.0085	0.0093	0.0125	0.0165	0.0213	0.0305	0.0448
45～49	0.0003	0.0002	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0012

② 各世代別(コーホート)にみた年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997
年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246	0.0219
20～24	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	0.1607	
25～29	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341	0.4326		
30～34	0.4700	0.4410	0.4614	0.4916			
35～39	0.1633	0.2025	0.2526				
40～44	0.0305	0.0448					
45～49	0.0012						
コーホート 合計特殊出生率	1.62	1.48	1.39	1.14	0.65	0.19	0.02

③ コーホート合計特殊出生率(②の積み上げ)(ごく粗い計算)

	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997
年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02
15～24	0.30	0.24	0.21	0.22	0.21	0.19	
15～29	0.96	0.79	0.68	0.65	0.65		
15～34	1.43	1.23	1.14	1.14			
15～39	1.59	1.43	1.39				
15～44	1.62	1.48					
15～49	1.62						

*「15～19歳の世代」は、平成5～9年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和63年～平成4年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和58～62年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和53～57年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和48～52年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和43～47年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和38～42年生まれ。

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「（期間）合計特殊出生率」、
「（15～49歳女性人口の）年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の) 年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成23年	105.1万人	=	2,634万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.002
	↓△1.3%		↓△0.8%		↓0.9%		↓△1.4%

平成24年	103.7万人	=	2,613万人	×	$\frac{1.41}{35}$	×	0.988
-------	---------	---	---------	---	-------------------	---	-------

※平成24年の合計特殊出生率が平成23年と同じだった場合、平成24年の出生数は前年より△2.1%であったと見込まれる。

平成23年から平成24年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」も低下したため、「合計特殊出生率」が上昇したものの、出生数が減少したことが分かる。

同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁のとおりであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、昭和49年から平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を転換年として上昇と低下を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

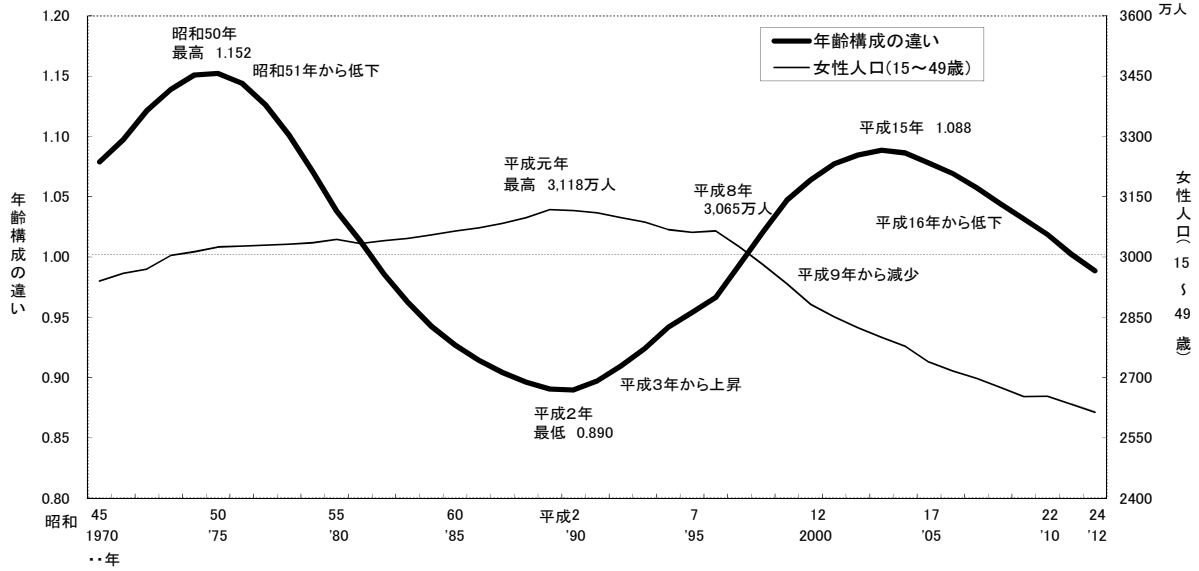
「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

注：1) (期間)合計特殊出生率は15歳から49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。

- 2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。

「年齢構成の違い」は、出生率の高い年齢の女性の人数が出生率の低い年齢の女性の人数より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)				
	出生数 ② ①×35×③	女性人口 (15～49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	女性人口 (15～49歳)	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い	
1970	昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
07	19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
08	20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
09	21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
10	22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
11	23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
12	24	1 037 231	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.9	△ 1.4

注：1 「女性人口(15～49歳)」の転換年は平成9年
 2 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年、平成18年
 3 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年